令和３年度　帯広市職員採用試験案内（後期日程）

【申込み受付期間】　令和３年８月２日（月）～８月19日（木）

- 試験の申込みは**電子申請**で行っていただきます。
- また、受験に関する案内・変更などについては、メールでご連絡することが多いため、必ず、**常時確認できるメールアドレスを登録**してください。
- **令和３年度（前期日程）を受験した方は後期日程を受験できません**ので、ご注意ください。

【第一次試験日】　テストセンター受験　　９月３日（金）～９月20日（月・祝）
　　ペーパーテスティング受験　９月11日（土）
【第二次試験日】　10月８日（金）～10月９日（土）
【第三次試験日】　11月６日（土）～11月７日（日）

帯広市では、次のような資質を持った優れた人材を求めています。

〇帯広市が求める職員像

１．市民の立場になって考え、市民と協働でまちづくりを推進する職員
２．使命感と責任感をもって、公正で誠実に対応する職員
３．専門的知識・能力を身につけ、発揮できる職員
４．常にコスト意識を持ち、効率的な行財政運営を行う職員
５．幅広い視野と豊かな発想力でチャレンジする職員

『帯広市人材育成基本方針』より

◎ 帯広市の採用試験は、**『人物重視』**であり、公務員試験用の対策をしていない方を含め、多くの方が受験しやすい試験となっています。
◎ 事務区分において、修学時における**学部**や**学科**、**専攻課程**、及び在職時における**職務内容等**は**特段問いません。**どなたでも受験資格さえ満たしていれば帯広市の採用試験にチャレンジいただけます。

1.　試験区分、採用予定数及び受験資格（令和４年４月１日採用予定）

（令和３年度前期日程を受験した方は、後期日程を受験できませんので、ご注意ください）

試験区分			採用予定数	受験資格	
総合職	事務	①大学卒	10名程度（注）	平成４年４月２日以降に生まれた人	学校教育法に基づく４年制大学を卒業した人または令和４年３月までに卒業見込の人（これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む） ※試験区分④に該当する人は除く
		②短大卒			次の１または２のいずれかを満たす人 １．学校教育法に基づく短期大学・高等専門学校・修業年数２年以上の専門学校（専修学校専門課程）を卒業した人または令和４年３月までに卒業見込の人（これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む） ２．学校教育法に基づく４年制大学の中退者で２年以上在学して卒業単位を62単位以上修得した人 ※試験区分①・④に該当する人は除く

試験区分			採用予定数	受験資格	
総合職	事務	③障害者	10名程度（注）	昭和57年４月２日以降に生まれた人	次の１及び２のいずれも満たす人 １．令和３年８月19日時点で下記の手帳等の交付を受けている人 ２．学校教育法に基づく高等学校・中等教育学校以上を卒業した人又は令和４年３月までに卒業見込の人（これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む） 【身体障害者】 ・身体障害者手帳（１級～６級） 【知的障害者】 ・療育手帳 ・児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、障害者職業センター、精神保健指定医による判定書 【精神障害者】 ・精神障害者保健福祉手帳
		④社会人		昭和57年４月２日から平成10年４月１日までに生まれた人	次の１及び２のいずれも満たす人 １．学校教育法に基づく高等学校・中等教育学校以上を卒業した人（これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む） ２．令和３年８月19日時点で、直近８年中に職務経験年数が通算して５年以上ある人 ※「職務経験年数」については会社員・団体職員・自営業者・公務員・派遣職員・契約社員等として、週29時間以上の勤務を６月以上継続した期間が該当 なお、青年海外協力隊等に6月以上継続して従事していた期間は、当該期間を職務経験年数に算入可能 ※最終合格後、職務経験を確認するため、職歴証明書を提出いただきます ※Ｑ＆Ａ（13ページ）もご確認ください
	⑤土木		３名程度（注）	平成４年４月２日以降に生まれた人	次の１又は２のいずれかを満たす人 １．学校教育法に基づく４年制大学・短期大学・高等専門学校・修業年数２年以上の専門学校（専修学校専門課程）で土木系学科を卒業した人又は令和４年３月までに卒業見込の人（これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む） ２．上記１の要件のうち、「土木系学科」以外の要件を満たしており、かつ、土木施工管理技士資格を有する人（令和４年３月までに資格取得が見込まれる人を含む） ※試験区分⑥に該当する人は除く
	⑥土木（社会人）			昭和37年４月２日から平成10年４月１日までに生まれた人	次の１及び２のいずれも満たす人 １．学校教育法に基づく高等学校・中等教育学校以上を卒業した人（これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む） ２．令和３年８月19日時点で、土木に関連した計画、設計・測量または施工管理等の職務経験年数が直近８年中に通算して５年以上ある人 ※「職務経験年数」については会社員・団体職員・自営業者・公務員・派遣職員・契約社員等として、週29時間以上の勤務を６月以上継続した期間が該当 なお、青年海外協力隊等に６月以上継続して従事していた期間は、当該期間を職務経験年数に算入可能 ※最終合格後、職務経験を確認するため、職歴証明書を提出いただきます ※Ｑ＆Ａ（13ページ）もご確認ください

試験区分		採用予定数	受験資格	
総合職	⑦建築	3名程度（注）	平成4年4月2日以降に生まれた人	次の1又は2のいずれかを満たす人 1．学校教育法に基づく4年制大学・短期大学・高等専門学校・修業年数2年以上の専門学校（専修学校専門課程）で建築系学科を卒業した人又は令和4年3月までに卒業見込の人（これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む） 2．上記1の要件のうち、「建築系学科」以外の要件を満たしており、かつ、建築士資格を有する人（令和4年3月までに資格取得が見込まれる人を含む） ※ただし、試験区分⑧に該当する人は除く
	⑧建築（社会人）		昭和37年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人	次の1及び2のいずれも満たす人 1．学校教育法に基づく高等学校・中等教育学校以上を卒業した人（これらと同等と認める資格「学力」を有する人も含む） 2．令和3年8月19日時点で、建築に関連した計画、設計または施工管理等の職務経験年数が直近8年中に通算して5年以上ある人 ※「職務経験年数」については会社員・団体職員・自営業者・公務員・派遣職員・契約社員等として、週29時間以上の勤務を6月以上継続した期間が該当 なお、青年海外協力隊等に6月以上継続して従事していた期間は、当該期間を職務経験年数に算入可能 ※最終合格後、職務経験を確認するため、職歴証明書を提出いただきます ※Q＆A（13ページ）もご確認ください
注　採用予定数については、別葉の**高校卒区分と合わせた人数**となります。 「事務」区分の採用予定人数は、大学卒、短大卒、障害者、社会人、高校卒合わせて10名程度、「土木」区分の採用予定人数は土木、土木（社会人）、土木（高校卒）合わせて3名程度、「建築」区分は建築、建築（社会人）、建築（高校卒）合わせて3名程度になります。				

※　試験区分等に疑問がある場合は、申込前に必ずお問い合わせください。また、**「3．職種別の主な職務内容」（4ページ）や、「試験や採用に関するQ＆A」（12・13ページ）もあわせてご確認ください。**

※　青年海外協力隊等とは、青年海外協力隊、シニア海外ボランティア、日系社会青年ボランティア、日系社会シニア・ボランティアを指します。

※　総合職は採用後、一定期間事業系（ごみ収集・給食調理等）業務に従事する場合があります。

2. 受験できない人

地方公務員法第16条に規定する以下の欠格条項に該当する人は受験できません。

- 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- 帯広市職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない人
- 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、法第60条から第63条までに規定する罪を犯し刑に処せられた人
- 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

なお、日本国籍を有しない人は、採用後において公権力を行使する業務または公の意思形成への参画に携わる職に従事することはできません。また、就職が制限されている在留資格の人は受験できません。

3. 職種別の主な職務内容

職種		主な職務内容
総合職	事務	市全般に係る施策の企画・調整や予算の編成、農業・商業・産業や文化・スポーツの振興、地域福祉、税、保険、年金や環境、戸籍など、特定の部門に限らず行政の様々な業務に幅広く従事します。
	土木	主に、総合的な都市整備や、道路、河川、上下水道、橋梁、公園、農業基盤などの企画計画、設計・施工において、土木関係の専門的技術の業務に従事します。
	建築	主に、公共建築物の調査・設計・監理・検査・審査・維持管理において、建築・建築設備関係の専門的技術の業務に従事します。

4. 試験日時、内容、会場及び合格発表

※新型コロナウイルス感染症拡大等の状況によっては、試験日時や内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

（１）第一次試験

受験方法は、「テストセンター方式（パソコン）」と「ペーパーテスティング方式（筆記・マークシート）」の２種類から、いずれか一つを選択してください。

① テストセンター方式

試験日	試験内容・方式	試験会場	合格発表	
			発表日	発表方法
９月３日（金）から ９月20日（月・祝）まで	総合適性検査 （パソコン上で問題を見ながら回答を入力）	札幌市、東京都など全国約 200 カ所の会場 ※帯広会場はありません。	９月 28 日（火） ※予定	帯広市ホームページに合格者の受験番号を発表します。 また、合格者には文書でも通知します。

〔テストセンター方式とは〕

全国の試験会場でパソコンを使い、受験者が希望する会場・日時で受験ができるテスト方式です。
全国に約 200 会場あり、最寄りの会場を選択し受験していただきます。
※国内主要都市（東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、広島、仙台など）を中心に、会場を選択することができます。（道内は札幌市内２会場を予定。他に臨時会場が開設される場合もあります。）
受験案内メールは９月１日（水）に送信を予定しています。９月１日（水）までに届かない場合は、人事課までお問い合わせください。
試験の詳細については、14 ページをご確認ください。

※本人確認書類について

「テストセンター方式」で受験を希望される方は、受験当日に会場で本人確認が必要となります。
本人確認には以下の書類が必要となりますので、お申込みの前に必ずご確認ください。
以下の書類による本人確認が出来ない場合、受験することが出来ませんのでご注意ください。

以下の書類は【１点のみ】で本人確認書類として有効
・パスポート ・運転免許証 ・マイナンバーカード ・特別永住者証明書 ・在留カード ・障害者各種手帳 ・住民基本台帳登録カード（写真付きのみ有効）

以下の書類は**第１グループから１点、第２グループから１点の【計２点】**で本人確認書類として有効	
第１グループ	第２グループ
・社員証（写真付きのみ有効）（注１） ・学生証（写真付きのみ有効）（注１）	・クレジットカード（署名付き） ・保険証 ・年金手帳

注１
社員証・学生証は受験者が所属する企業・団体・教育機関が発行するカード等で、以下４点を満たしている場合に有効
１．顔写真が貼付されている
２．a.プラスチックカードに印刷されている、b.ラミネート加工が施されている、c.顔写真に割り印またはエンボス加工がされている（紙製可）、のいずれかに該当する。
３．姓・名ともに記載されている
４．企業・団体・教育機関名またはロゴや校章が記載されている

② ペーパーテスティング方式

試験日	試験内容	試験会場	合格発表	
			発表日	発表方法
９月11日（土） **午前９時～正午、午後２時～午後５時のうちいずれかの時間帯** ※詳しい日時・試験会場等については、受験票にて通知します。	総合適性検査 （紙の問題集をみながら回答をマークシートに記入）	帯広市役所本庁舎ほか	９月28日(火) ※予定	帯広市ホームページに合格者の受験番号を発表します。 また、合格者には文書でも通知します。

〔ペーパーテスティング試験に必要なもの〕
①　**受 験 票**　ペーパーテスティングで申込みされた方には、**後日受験票をメールでお送りします。**送信は受付期間終了後、９月８日（水）を予定しています。**９月８日（水）までに受験票が届かない場合は、人事課までお問い合わせください。**
②　**筆記用具**　ＨＢ以上の鉛筆等、消しゴム

（２）第二次試験、第三次試験　**※日時及び試験会場等は現時点での予定です。**

	試験日時	試験内容	試験会場	合格発表	
				発表日	発表方法
第二次試験	**10月８日（金）・９日（土）のうちどちらか１日** **午前９時～午後８時** **（待ち時間含む40分程度）** ※試験日の希望は下記注意事項のとおり	個別面接試験 ※「Ｚｏｏｍ」を使用したＷｅｂ面接で実施	―	10月22日(金) ※予定	帯広市ホームページに合格者の受験番号を発表します。 また、合格者には文書でも通知します。
第三次試験	**11月６日（土）・７日（日）のうちいずれか１日　※予定** **午前９時～午後８時** **（待ち時間含む３時間程度）** ※詳しい日時・試験会場等については、第二次試験合格者に別途通知します。	１．個別面接試験 ２．集団討論試験	帯広市役所本庁舎	11月16日(火) ※予定	帯広市ホームページに合格者の受験番号を発表します。 また、受験者全員に文書で通知します。

〔第二次試験の注意事項〕
※2日間のうち、希望する試験日を申込時に選択してください。
なお、希望に沿えない場合もありますので、ご了承ください。
※詳しい日時等については、第一次試験合格者に別途通知します。

（３）第二次試験（Ｗｅｂ面接）について

事前準備	○第一次試験合格者は、第一次試験合格通知書及び電子メールにてお知らせするＵＲＬからアクセスし、Ｗｅｂ面接試験を受けていただきます。※ＰＣ、スマートフォン、タブレットのいずれでも可能 ・スマートフォン、タブレットを使用する場合は、事前に「Ｚｏｏｍ」のアプリをインストールしてください。 ※ＰＣの場合、アプリが無くても起動できますが、アプリをインストールされていると、よりスムーズに起動いたします。また、「Ｚｏｏｍ」のアカウントを取得する必要はございません。 ・Ｗｅｂ面接にあたり、必要に応じて<u>Ｗｅｂカメラ</u>や<u>マイク付きイヤホン</u>などをご準備ください。 ※機器に内蔵されている場合も、画質や会話の聞きやすさなどから、別途ご用意されることを推奨いたします。 ・「Ｚｏｏｍ」が正常に起動されるかなど、接続状況をご確認ください。 ・事前に、「Ｚｏｏｍヘルプセンター」のページからシステム要件や推奨環境をご確認ください。 **「Ｚｏｏｍヘルプセンター」** （https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-Mac-Linux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6）
面接当日	○通知のあった日時にＵＲＬへアクセスし、Ｗｅｂ面接を開始します。 **【注意事項】** ・指定した日時の１０分前にはアクセスし、Ｗｅｂ面接を開始できるよう待機してください。 ・屋外やオープンスペースでは、周りの音が聞こえ、音声が聞き取りにくい場合がありますので、できるだけ静かな場所で受験してください。 ・暗い場所では、映像が不鮮明になる可能性がありますので、明るい場所で受験してください。 ・スマートフォンやタブレットを使用する場合は、機器を固定してください。 ・通信機器等のトラブル等により、面接の続行が難しいと判断した場合、面接を中断いたします。その際は、「Ｚｏｏｍ」のチャット機能、電話またはメールにてご連絡いたします。 ・通知している時間から大幅に変更になる場合は、電話かメールにてご連絡いたします。 ・予定時刻を過ぎた時点で受験者のアクセスが無いと確認された場合は、辞退と判断いたします。 ・録画・録音等を行い、それらをネット上でアップロードするなどの行為は絶対に行わないでください。また、面接時は面接の内容を第三者に知られないようにしてください。以上のことが判明した場合は、それまでの合格及び採用の決定を取り消す場合があります。 ・受験者の設定状況、使用方法に起因する事由により、個人情報やプライバシーが侵害された場合でも、帯広市では一切責任を負いませんのでご了承ください。

※ <u>**試験の詳細については、15ページもご参照ください。**</u>
<u>**ＰＣやスマートフォンの用意ができない、またＷｅｂカメラなどのツールが用意できないなどの理由でＷｅｂ面接が困難な場合は、９月22日（水）までに、人事課までご連絡ください。**</u>
<u>**なお、期日を過ぎた後にご連絡をいただいても、対応いたしかねますので、ご了承ください。**</u>

5. 受験申込手続き及び受付期間

申込方法	インターネットによる電子申請にて、採用試験のお申込みを受付いたします。 お申込みには、「北海道電子自治体共同システム」の利用者登録が必要となります。 **「北海道電子自治体共同システム」** （https://www.harp.lg.jp/SdsJuminWeb/JuminLgSelect）

受付期間	**8月2日（月）午前11時～8月19日（木）午後5時30分【受信分有効】** ※申込データが申込締切（8月19日（木）午後5時30分）までにサーバーに正常に到達したものに限り有効とします。受付時間はサーバーの時刻を基準とします。 ※申込締切直前等は申込みが集中し、データの送受信に時間がかかる場合があります。また、**申込書の修正が必要となる場合**がありますので、期限に余裕を持って**早めに申込手続き**を行ってください。 **※8月17日（火）午後10時～8月18日（水）午前6時は、メンテナンス作業のためインターネットによる申込みができません。**
必要なもの	**①インターネットに接続された機器** 機器の機種や環境等により利用できない場合があります。動作環境は「北海道電子自治体共同システム」のホームページ（https://www.harp.lg.jp/public/client.html）をご覧ください。 パソコンなどを個人で所有していない場合でも、学校やインターネットカフェ等のパソコンなどによる申込みも可能です。ただし、使用後には履歴を削除するなど、個人情報の取扱いにご注意ください。 使用する機器や通信回線上の障害等によるトラブルについては帯広市では一切責任を負いません。 **②電子メールアドレス** 「北海道電子自治体共同システム」の利用者登録及びテストセンター受験のご案内に必要です。また、申込後の連絡にも使用しますので、申込みから試験終了まで継続して利用できる電子メールアドレスを用意してください。また、「北海道電子自治体共同システム」及び「帯広市」からのメールを受信できるよう設定してください。
申込方法	1．「北海道電子自治体共同システム（https://www.harp.lg.jp/SdsJuminWeb/JuminLgSelect)」にアクセスし、「利用者登録はこちら」から、画面の指示に従って、基本情報等を入力し、利用者登録をしてください。 利用者ＩＤ及びパスワードは必ず控えを取り、忘れないようにしてください。 なお、既に利用者登録されている方は、お持ちの利用者ＩＤをお使いいただけますが、住所やメールアドレス等を必ず確認し、変更が必要な方は利用者情報の変更を行ってください。 2．「北海道電子自治体共同システム」の「申請先の選択」画面から「帯広市」を選択し、**「令和3年度帯広市職員採用試験（後期日程）」（※高校卒区分とお間違いないようご注意ください）**を選択してください。「手続案内」画面をよく読んでから「電子申請をする（電子証明書が不要）」を選択してください。 3．ログイン後、「申請書入力」画面で必要事項を入力して申し込み、「送信完了」画面を確認してください。 ・インターネットによる申込みからテストセンター受験までの流れについては、14ページをご参照ください。（ペーパーテスティング受験の方は、こちらからメールでお送りする受験票にてご確認ください。） ・氏名、住所等の入力に、環境依存文字、旧漢字、「,（カンマ）」等は入力しないでください。 ・申込後の内容変更はできません。 ・**同じ試験の申込みを繰り返し行うことはやめてください。**同一人物による複数の申込みがあった場合は、最初の申込みを有効とします。 ・申込完了後に申請内容に変更があり、内容を修正したい場合は、人事課までご連絡ください。 ・申込手続きに際して、北海道電子自治体共同システムから届く電子メールは、試験終了まで削除せずに保存しておいてください。 ・申込内容に不備がある場合には「**補正指示**」等の連絡を行います。連絡がつかない状態が続く場合には、申込みを受け付けることができません。**このために生じる受験申込みの遅延については、帯広市では一切責任を負いません。**また、「**補正指示**」を受けた際、**申込受付期間終了後の翌日（令和3年8月20日）の午前中までに修正が確認できなかった場合は、申込みを無効**といたします。

入力時の注意	申請入力画面で**60分間通信（ページ移動）がない場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。** ご入力前に必ず8～9ページの「（１）お申込み内容」を確認し、特に入力に時間を要する**「帯広市職員を志望した理由」**や**「自己ＰＲ」**、また**「職歴」**が多い方については、事前に内容を確定した上で入力されることをお勧めいたします。また、入力を途中で中断する場合は一時保存を行うなど、各自ご対応ください。

※　**通信環境等の事情により、インターネット上の手続きが困難な方は７月29日（木）までに、問い合わせ先まで電話でご連絡ください。**

（１）お申込み内容

よくある間違い事例（16ページ）を参照の上、下記事項を入力してください。

①試験区分

試験区分を一つだけ選択してください。

②受験方式

受験方式（テストセンター・ペーパーテスティング）のいずれか選択してください。

③氏名

戸籍に記載されているとおり正しく入力してください。また、フリガナも入力してください。

なお、名字と名前の間を必ず**全角一文字空けて入力**してください。

④現住所

現在の住所を郵便番号とともに、正確に入力してください。

⑤連絡先（電話番号）

最もつながりやすい電話番号を入力してください。受験申込の内容の確認などで連絡をすることがあります。

⑥生年月日

⑦メールアドレス

申込みの受信確認や、試験時の連絡等に使用しますので、お間違いないように入力してください。

また、**申請後にメールアドレスの変更**を行う際は、必ず北海道電子自治体共同システムの登録情報（メールアドレス）を修正するとともに、問い合わせ先（人事課）にも変更後のメールアドレスをご連絡（メール）してください。

⑧現住所以外の連絡先

こちらから送付する合格通知書等の送付先を、④「現住所」以外に指定したい場合はその旨を選択し、送付先（例：帰省先など）と送付先の「世帯主様名」および「あなたとの関係」を入力してください。

⑨学歴

高等学校卒業程度認定試験の合格者（旧大学入学検定試験合格者）は中学校から、その他の人は高校から記入してください。

「学部・学科・専攻課程」「修学年」「在学期間」「修学区分」等をお間違いなく入力してください。

また、学歴に関して特記事項がある場合は「備考」に入力してください。

⑩職歴

「職歴の有無」を選択し、「あり」の方は職歴（勤務地、職務内容、雇用形態、勤務状況、勤務期間、週の勤務時間）を古い順から入力してください。

【社会人区分】を希望される方は、受験資格として直近８年（平成25年８月20日から令和３年８月19日）中の職歴のうち、週29時間以上かつ６月以上継続して就業したものが該当します。

最終学歴以前の職歴がある場合も入力してください。

アルバイト等はフルタイム（週29時間以上）のみ入力してください。但し、帯広市での勤務経験がある場合は、雇用形態に関わらず入力してください。

職歴が多く入力しきれない場合は、「職歴」の「備考」にご入力ください。

また、就業中に取得した「休職期間」等、特記事項がある場合も「備考」に入力してください。

⑪資格・免許

取得済み（取得見込み）の資格・免許等について入力してください。

⑫障害のある方

【障害者区分】で申し込まれる方は必ず、その障害の状況、程度を入力してください。

併せて、受験資格にある交付を受けている**「手帳等の写し」**を必ず申込受付期間内に届くよう問い合わせ先まで郵送または持参してください（HARP上で手帳等の写しのデータを送信することでも可）。

⑬採用後の配置について配慮を要する事項

⑭受験上配慮を要する事項

例：車いすの使用等

⑮帯広市職員を志望した理由（350文字以内）

⑯自己ＰＲ（350文字以内）

⑰第二次試験の希望日

第一次試験合格者となった場合の第二次試験の希望日について、「第一希望日」と「第二希望日」を選択してください。「いずれの日でもよい」場合はその旨選択してください。

⑱勤務可能日

令和４年３月31日以前に勤務が可能な方は勤務可能日を入力してください。

ただし、令和４年新卒者（卒業見込み）の方は除きます。

⑲最終確認

申込内容に相違がなければ、チェックを入れてください。

⑳証明写真

採用試験申込書への貼付を想定した顔写真データ（顔が鮮明に映っているもので、余分な背景等が極力映っていないもの）をご提出ください。

6. 給与の概要（令和３年４月１日現在）

※初任給は採用前の職歴等に応じて加算される場合があります。

学歴区分		初任給	その他の手当
総合職	大学卒	１８２，２００円	期末・勤勉手当（６月、12月）、寒冷地手当、扶養手当、住居手当、通勤手当などを、それぞれの要件に応じて支給します。
	短大卒	１６３，１００円	
	高校卒	１５０，６００円	

※職務経験年数がある場合

年齢	最終学歴	職務経験年数	初任給 （期末・勤勉手当を含む年額）
２５歳	高校卒	６年	171,700円 （2,824,465円）
３０歳	短大卒	９年	208,900円 （3,436,405円）
３５歳	大学卒	１２年	257,600円 （4,237,520円）

※　採用時の職務経験に基づく給与月額等を例示しています。具体的な給与については、個々の職務経験年数によって異なります。

7. 合格から採用まで

最終合格者は採用候補者名簿に登録され、その順位に従い、原則として令和4年4月1日以降に採用となります。

8. 注意点

試験に関してご提出いただく情報や書類等は、お返しできません。

試験のお申込みは、8月19日（木）17：30までにデータが受信されたものが受付対象となります。

9. 試験会場（ペーパーテスティング方式）

試験会場は、帯広市役所本庁舎（帯広市西5条南7丁目1番地～地図①）、消防庁舎（帯広市西6条南6丁目3番地1～地図②）、とかち館（帯広市西7条南6丁目2番地～地図③）のいずれかになります。**詳しくは、後日メールでお送りする受験票にてご確認ください。**

〇市役所駐車場（地図④）について

試験時は、市役所駐車場をご利用いただけます。ただし、台数に制限がありますので、できるかぎり公共交通機関をご利用ください。

〇試験会場入口について

① 市役所本庁舎の入口は、本庁舎の南側です。
② 消防庁舎の入口は、消防庁舎の東側です（消防庁舎南側駐車場はご利用いただけません。）。
③ とかち館の入口は、とかち館の東側です。

〇会場に着いたら

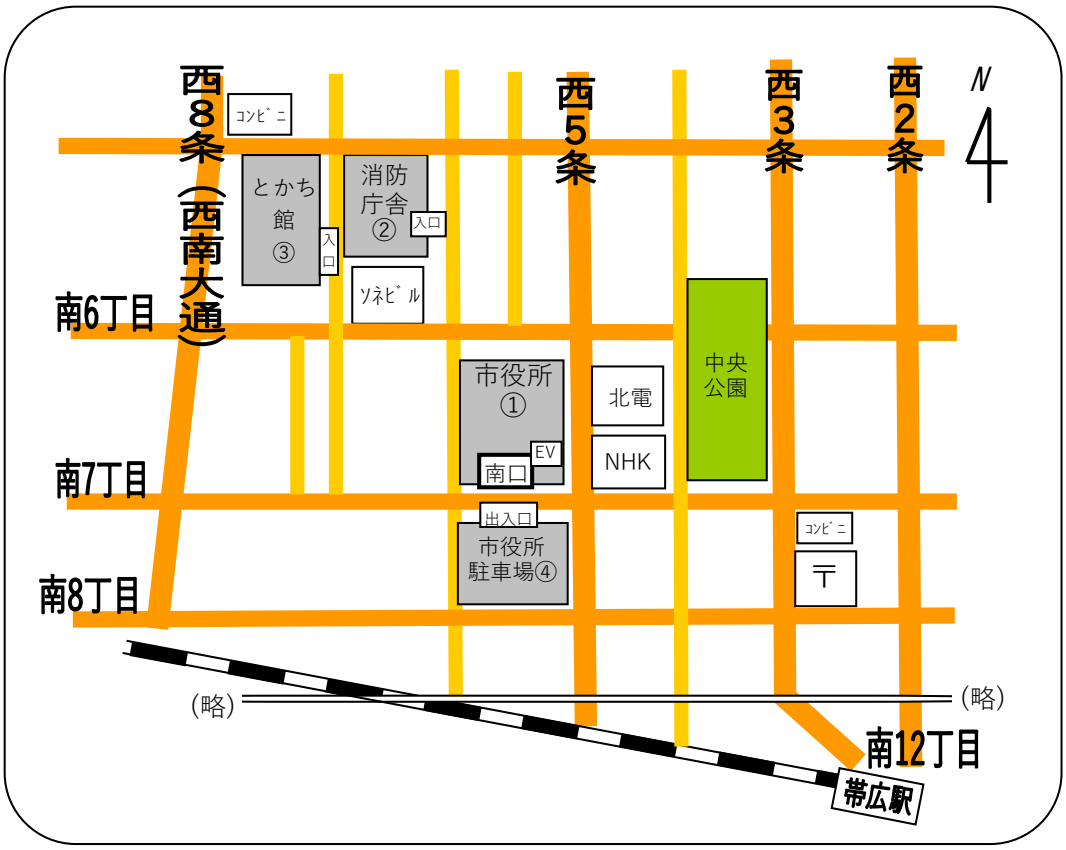
係の指示に従ってください。
試験開始時刻に遅れた場合は受験を認めませんので、時間に余裕をもってご来場ください。
試験時間中は、携帯電話等の電源を切ってください。

〇喫煙および飲食について

試験会場敷地内は、全て禁煙です。
また、試験会場内では試験中の飲食もご遠慮ください。

〇一次試験がテストセンター方式の方は

受験案内メール受信後に最寄りの会場を選択し、試験会場、受験日時を確定してください。
（14ページ参照）



10. 問い合わせ先

○帯広市職員採用試験に関すること

帯広市 総務部 組織人事室 人事課 人事・行革係　電話：0155-65-4108
〒080-8670　北海道帯広市西５条南７丁目１番地
E-mail：staff@city.obihiro.hokkaido.jp

○電子申請サービスの利用方法・操作方法に関すること

北海道電子自治体共同システムヘルプデスクへお問い合わせください。

（https://www.harp.lg.jp/public/inquiry.html）

試験や採用に関するＱ＆Ａ

Ｑ１　試験案内をダウンロードしたが、印刷できる機能がない（印刷がうまくいかない）場合は？

Ａ１　総合案内（市庁舎１階）か人事課（市庁舎５階）まで試験案内を取りに来ていただくか、自分の住所・氏名を宛名に記入し、140 円切手を貼った返信用封筒（角２封筒）を同封のうえ、「採用試験案内請求」と朱書きし、人事課へ郵送にて請求してください。届き次第、返信用封筒に試験案内を入れてご返送します。締切日を考慮し、時間にゆとりをもってご請求ください。

Ｑ２　現在、東京に住んでいるが、合格通知書等の送付先を帯広市内の実家に指定したい場合は？

Ａ２　現住所以外を送付先に指定する場合は、申込時の「現住所以外の連絡先」を入力の上、「送付先に指定する」にチェックをしてください。また、こちらからの通知等が確実に届くように「○○（世帯主名）様方」をご入力ください。

Ｑ３　職歴がたくさんあり、採用試験申込書に書ききれない場合は？

Ａ３　「職歴」の「備考」に全ての職歴（フルタイム勤務でないアルバイトを除く）を入力してください。また、帯広市の職員（会計年度任用職員等）として勤務経験がある場合は雇用の形態にかかわらず、全て入力してください。なお、在職中の場合は、期間の「至」欄は申請日当月を入力してください。

Ｑ４　試験問題の科目や過去の問題などは教えてもらえるか？

Ａ４　試験案内に記載している以上のことについては、お答えできませんのでご了承ください。

Ｑ５　職種が総合職となっているが、配属先や、仕事の内容は？

Ａ５　総合職は、帯広市のさまざまな業務を担当します。事務系の業務のほか、事業系（清掃・給食等）の業務に従事する職場へ配属される場合もあります。

Ｑ６　複数の試験区分を同時に受験できるか？

Ａ６　受験できる区分は一つのみです。

Ｑ７　令和３年度前期日程の試験に合格しなかった場合、今回の試験（後期日程）を受験できるか？

Ａ７　令和３年度前期日程の受験者は、基本的に受験できませんが、体調不良などを理由に第一次試験を受験しなかった方については受験可能です。

Ｑ８　大学院に在学中だが、受験できるか？

Ａ８　大学卒として受験できます。

Ｑ９　専門学校に在学中だが、受験できるか？

Ａ９　専門学校（専修学校専門課程）において高度専門士の称号を令和４年３月取得見込の方は大学卒区分、２～３年制の専門学校を令和４年３月卒業見込の方は短大卒区分、１年制の場合は高校卒区分での受験となります。※受験区分がご不明な場合は、人事課人事・行革係（0155-65-4108）にお問合せください。

Ｑ10　大学卒であっても、高校卒区分で受験できるか？

Ａ10　大学を卒業した人は、高校卒区分や短大卒区分での受験はできません。学歴を偽って申し込むと、受験資格を満たしていないこととなりますので、ご注意ください。

Ｑ11　障害がある場合、障害者の区分で申し込まなければならないか？

Ａ11　受験資格を満たしていれば、いずれの区分でも受験できます（複数区分での併願はできません。）。

Ｑ12　採用試験の申込に係る情報や書類等は試験終了後に返却してもらえるか？

Ａ12　採用試験に関する情報及び書類等は、一切お返しできませんのでご了承ください。

Ｑ13　大学を３年次で中退しました。学歴の扱いはどうなるか？

Ａ13　２年次まで在籍し、62 単位以上を取得できている場合は、短大卒程度の扱いとなります。最終合格後、単位の取得状況が分かる書類を提出していただきますので、ご留意の上お申込みください。

試験や採用に関するＱ＆Ａ（職務経験）

Ｑ１　職務経験年数から除かれる期間はあるか？

Ａ１　休業等（病気休職や傷病休暇等）により実際に業務に従事しない期間が１か月以上ある場合は、就業規則等で認められたものであってもその全期間を除きます（在職期間から休業等の期間を差し引く。）。ただし、産前・産後休暇、育児休業期間は職務経験期間として通算できます。

除算対象期間に関わらず、職務経験期間中に取得した休業等は全て申込時の職歴の「備考」にご入力ください。なお、休業等を除いた期間（職務経験年数）が通算して５年以上（直近８年中）あれば問題ありません。また、週 29 時間以上の勤務を継続した期間が６月に満たない場合は、職務経験年数に通算できませんので、ご注意ください。

Ｑ２　契約社員や派遣社員の場合でも受験可能か？

Ａ２　契約社員・派遣社員の方でも週 29 時間以上の勤務で、かつ直近８年中に通算して５年以上勤務している場合は、「社会人区分」として受験できます。なお、６月以上継続して勤務した期間のみ通算可能です。

Ｑ３　同じ企業で雇用形態が変わった場合（契約社員から正社員など）の職務経験の取り扱いは？

Ａ３　週 29 時間以上の勤務であり、同じ企業で勤務していれば、継続した期間とみなします。

Ｑ４　出向により別の会社に勤務した場合の職務経験の取り扱いは？

Ａ４　職歴証明書により会社に在籍したままの出向であったことが証明できる場合は、その会社における継続した期間とみなします。

Ｑ５　会社名が変更になった（合併含む）場合の職務経験の取り扱いは？

Ａ５　会社名が変更されても、その会社が元は同一であること、その会社に継続して勤務していたことが職歴証明書で確認できる場合は、その会社における継続した期間とみなします。

Ｑ６　受験資格に該当する会社が倒産している場合でも受験可能か？

Ａ６　受験資格を満たしていれば受験は可能です。ただし、会社の倒産により最終合格後に職歴証明書を提出できない場合は、雇用時の契約書類や雇用保険受給資格証明書等、他に証明できる書類を提出していただきますので、事前に人事課人事・行革係（0155-65-4108）へお問い合わせください。

Ｑ７　職歴証明書を提出できない場合は？

Ａ７　最終合格後、受験資格である職務経験を確認するため、職歴証明書を提出していただきます。提出できない場合は、合格取り消しとなりますのでご注意ください。

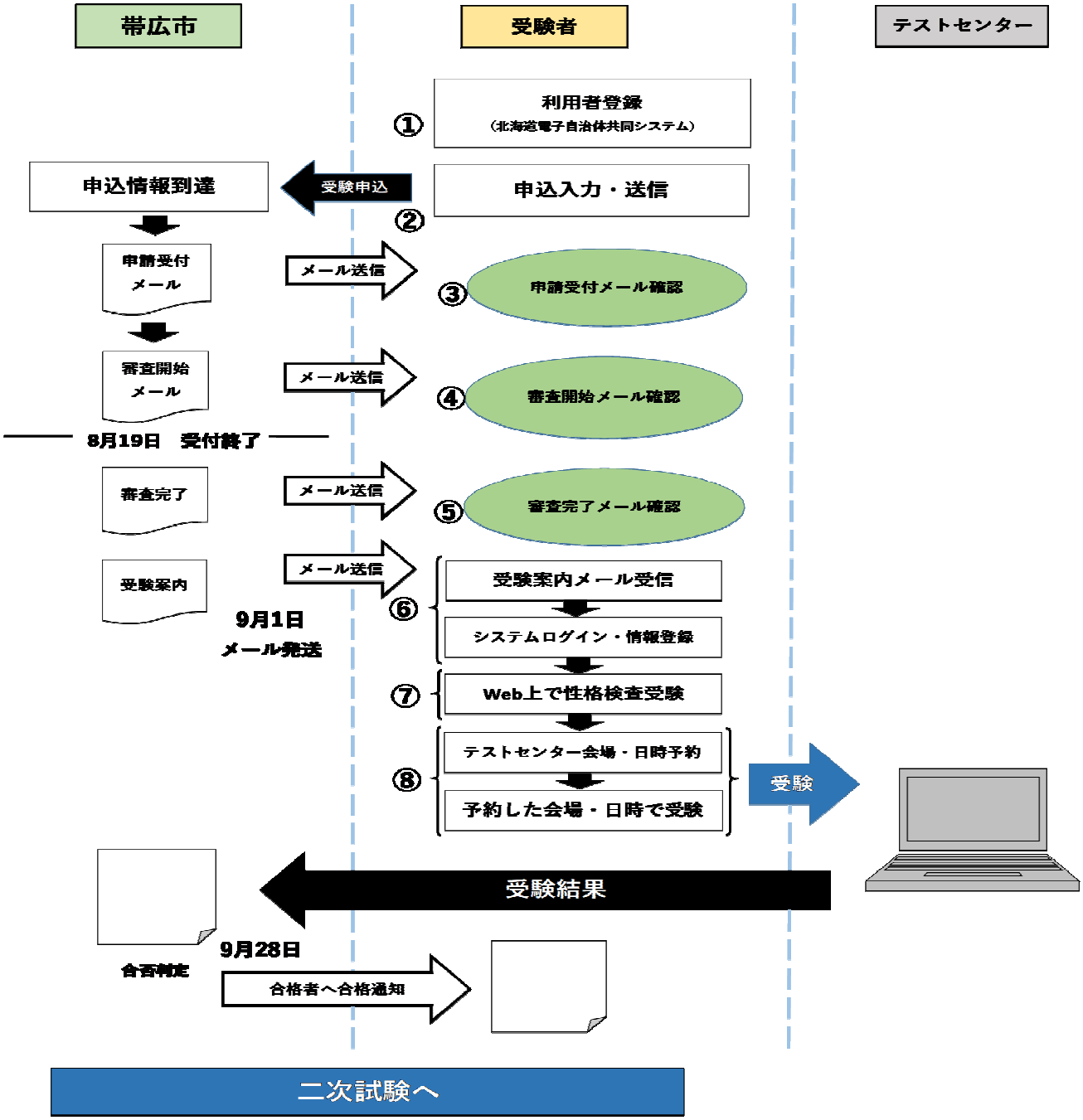
Ｑ８　自営業の場合、職歴証明書のほかに何か提出する必要があるか？

Ａ８　自営業を営まれていた方は最終合格後、職歴証明書のほかに営業日・営業時間などを証明できる資料を提出していただきますので、事前に人事課人事・行革係（0155-65-4108）へお問い合わせください。

Ｑ９　令和４年４月１日現在 29 歳で、大学を卒業してから一企業に継続して働いている。事務職の場合、どの区分で受験可能か？

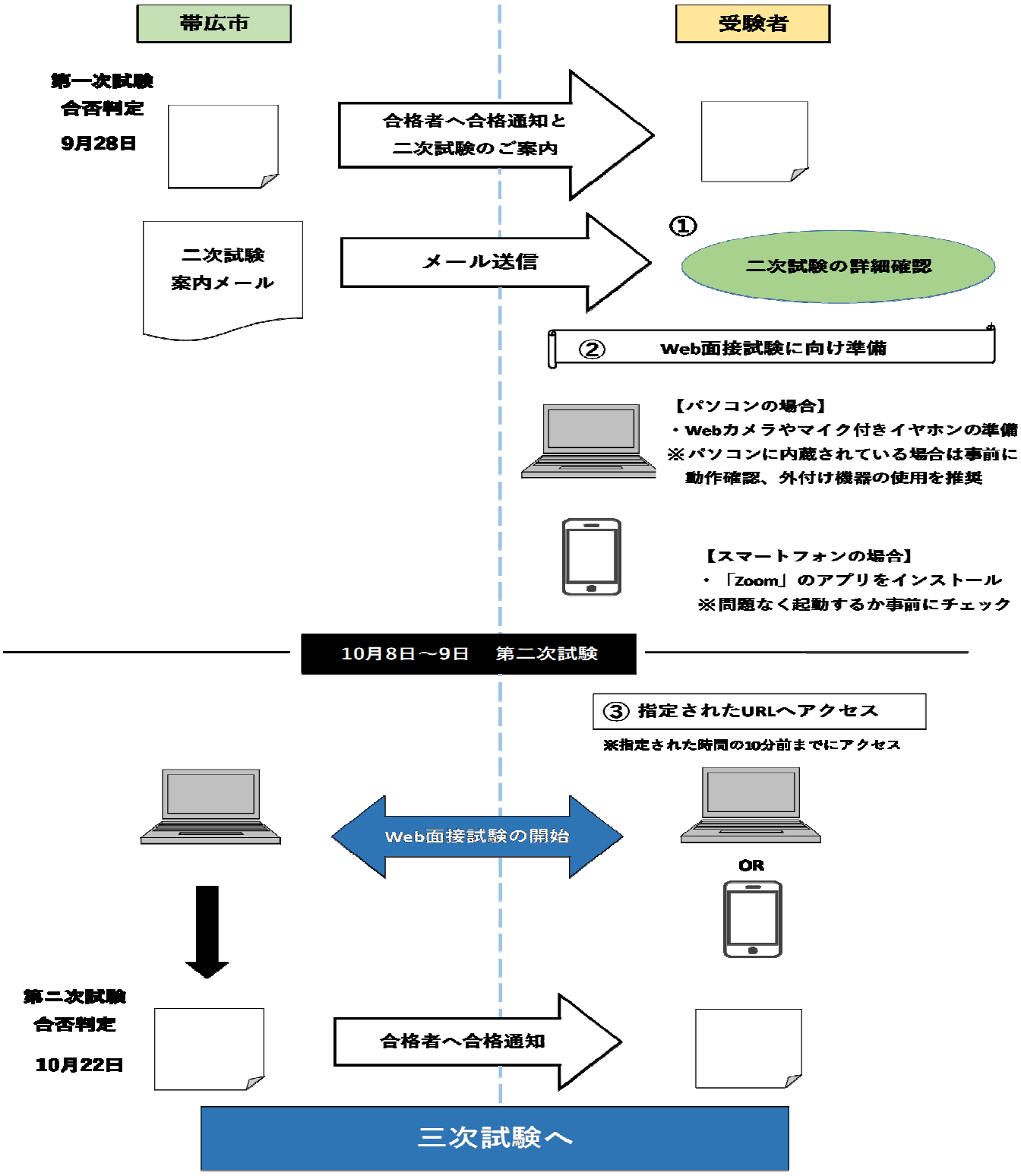
Ａ９　現在社会人として働いていても、最終学歴及び年齢、職務経験年数によって該当する試験区分が異なります。職務経験年数が直近８年中通算して５年以上あれば「④事務・社会人」区分となり、職務経験年数がそれに満たなければ「①事務・大学卒」区分での受験ができます。

試験申込からテストセンター受験までの流れ



① 利用者登録を行っただけでは、申込みは完了しません。
② 「帯広市職員採用試験（後期日程）」の申込入力・送信を行ってください。
③ メールを必ず確認してください。（※④、⑤のメールも同様）
⑥ 登録いただいたメールアドレスへ受験案内メールを送信します。届きましたら、メールの内容に従って必要な手続きを行ってください。
※９月１日（水）までに案内メールが届かない場合は、９月２日（木）以降、必ず人事課（電話：0155-65-4108）まで連絡してください。
⑦ ⑥の手続きが済んだ後、自宅のパソコンやスマートフォンなどで事前に性格検査を受験します。
⑧ ⑦の検査を受験した後、希望するテストセンター会場・日時を予約し、当日会場のパソコンを使って知的能力検査を受験します。

第二次試験（Ｗｅｂ面接）の流れ



① メールに記載する面接日時、ＵＲＬを必ず確認してください。

② 動作の確認と併せて、「Ｚｏｏｍヘルプセンター」のシステム要件についてもご確認ください。
（https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-Mac-Linux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6）

③ 開始 10 分前までには、準備を終えアクセスしてください。また、面接開始時刻が大幅に変更になる場合は電話かメールにてご連絡いたします。

申込時によくある間違い事例

試験案内を再度よくご覧いただき、受験資格に合致しているか、誤りなく内容を入力できているかどうか、下記の間違い事例も参考にしながら、申込み前に再度確認してください。

【①試験区分】

●受験資格を満たしていない。

（例）社会人区分で申込みをしているが、直近 8 年中で 5 年以上の職務経験年数を有していない。

（例）土木区分で申込みをしているが、土木系学科を卒業しておらず、資格を有していない。

【②氏名及びフリガナ】

●氏名及びフリガナを正しく入力できていない。

（例）「氏名」及び「フリガナ」の名字と名前の間に、全角 1 文字分ではなく、半角 1 文字分のスペースが入っている。

【③学歴】

●「学歴」を正しく入力できていない。

（例）高校・大学をともに卒業しているが、高校を入力せず、大学のみ入力している。

（例）高校を卒業としているが、在学期間が 3 年間に達していない（期間の入力誤り）。

（例）学校教育法に基づいた認可を受けていない無認可校（専門学院等）を卒業見込みであるが、「高校卒」ではなく、「短大卒」区分で申し込んでいる。

（例）転入学をしているが、転入前の学校の記載がもれている。

【④職歴】

●職歴を正しく入力できていない。

（例）社会人区分で申込みをしているが、職歴を記載していない。

（例）古い時点の職歴から順番に入力されていない。

【⑤別送資料の有無】

●別送資料が無いのに、「有」を選択している。

（例）別送資料の有無は、障害者区分の受験の場合、障害者手帳等の写しの郵送等での提出がある場合に「有」を選択していただく欄です。障害者区分以外の受験者の方は「無」を選択してください。

【⑥顔写真】

●申込書への貼付を想定した顔写真データを添付できていない。

（例）低画質で確認しにくいまたは焦点が合っていない写真データを添付している。

（例）証明写真等を机の上に置いて撮影している。（写真が小さく、余分な背景等が多く映り込んでいる）